



うたきの杜たより 特別号

第7号

地域行事 ～豊年祭～

2026.7.27

石垣市平得1032-2

豊年祭

旧暦 6 月に入ると、八重山諸島の各地で豊年祭が行われます。私の住む地域でも 7 月 24 日、安居御嶽(アングンオン)で来夏世の豊穰を祈る神事が執り行われました。

今年は女性部として初めてお神酒を仕込み、神前へ奉納しました。そのお神酒で神司と公民館役員による「ウミシャグパーシー(お神酒ハヤシ)」が行われ、直会では会場の皆さんにも振る舞われ、大変喜ばれました。

その後は「さーさーさーさー」の掛け声とともに、地域の小・中・高校、公民館、市役所の旗頭が勇壮に上がり、会場は熱気に包まれました。子どもたちの神輿や三分会のダンス、女性部による「稲しり節」と「真栄里小唄」の奉納も行われました。

私は当日朝畑で育てた粟と高黍を公民館の弥勒様へお供えし、その御前で「弥勒節」を舞うことができました。畑の実りへの感謝を舞で捧げることができたことは、何より大きな喜びでした。

25日の村プールでは旗頭やツナヌミン、綱引きで祭りは最高潮を迎え、今年も豊年祭を無事終えることができました。

オンプール

旗頭「ンガサ(ムカデ)」

遠くに投げて必ず戻ってくるという意味がある

「弥勒様」豊年祭の時表に出される

御嶽で稲しり節を踊る

真栄里の旗頭は、
高さ約 10m、総重量40~50kg

道踊り「真栄里小唄」

ムラプール

ツナヌミン

豊年祭餅(プールのムチ)

今年も母方の実家で、豊年祭餅をつくりました。豊年祭餅とは、お米の収穫への感謝や翌年の五穀豊穰を願い、神前にお供えする伝統的な神事食です。

まず、バナナの葉(糸芭蕉)を取りに行き、葉っぱをきれいに拭いて、切って、葉っぱに油を塗ります。次に餅をこねて、バナナの葉で包み、月桃の繊維で餅を縛って蒸す、という工程を、材料調達から家族親戚で1日かけて今年は50個ほど作りました。

私は昨年、島に戻ってきたので今年で2回目の餅づくりです。作ったお餅は、仏壇にお供えし、家族親戚で分けていただきました。自分たちで作るお餅は、特別においしく感じ、「今年も豊年祭の時期がきたなあ」と実感する我が家の大切な年中行事の1つです。

わか



糸芭蕉



きれいに拭いて切る



油を塗り、餅を包む



出来上がった餅



40 分蒸す